



HOYU REHABILITATION HOSPITAL

医療法人晴風園 ほうゆうりハビリテーション病院



◆ 理念

ひろく あつく あたたかく

リハビリテーションを通じた医療を提供いたします。

病院スタッフがチーム一丸となり、患者さまの個々の状態に応じた一貫した
リハビリテーションの提供を通じ、日常生活への復帰を全力でサポートします。



● 基本方針

山城北圏域を対象に、回復期リハビリテーションを望まれる患者さまを「広く」受け入れます。

回復期の基準がはずれても、幅「広く」リハビリテーションを行うための療養リハビリテーションを準備します。

入院生活を気持ちよく
心「暖かく」
すごしていただくために、職員一同一丸となって患者さまに「温かく」接します。

十分なスタッフと機器を取り揃えて備えは手「厚く」、職員は在宅復帰と右肩上がりをめざして「熱く」取り組みます。

当院は、ここ城陽に40数年根ざした病院として、地域の方々の健康を守ってまいりました。日ごろより、患者さまから直にお気持ちやご要望をお伺し、また近隣医療機関からもさまざまご意見をいただきながら、宇治・久世・山城北医療圏が置かれている医療状況にも広く目を向ける必要性を感じていました。ひいては「患者さまの期待に応える医療」を提供するためにすべきことは何か、どうすれば地域医療により貢献できるかを常に追求してきました。

その結果、患者さまが病気や外傷のための急性期治療を受けられた後、ご自宅や社会へ復帰されるまでを支援することこそ、当院に求められている役割ではないかという結論に至りました。この医療の実現には、リハビリテーション部門の拡充と、さらなる地域連携医療の強化が不可欠でした。

2018年11月に当院は生和会グループの一員となり、同グループが長年にわたり蓄積してきたリハビリテーションのノウハウを導入いたしました。

その後、2019年7月には回復期リハビリテーション病棟を開設、同年8月には病院名を改め、リハビリテーションを中心とした病院へと本格的に舵を切りました。

さらに2020年6月、生和会グループ内の法人統合により、当院は「医療法人晴風園ほうゆうリハビリテーション病院」となりました。これにより、医療設備や医療安全にこれまで以上の投資が可能となり、リハビリテーションのためのよりよい医療環境を築くことができるようになりました。

新体制のもと、患者さま、そしてご紹介をいただいた医療機関にもご満足いただける医療の提供を目指し、全職員一丸となって邁進してまいります。



院長 羽渕 義純



「いつもの暮らし」への かけ橋を、チームで築く。

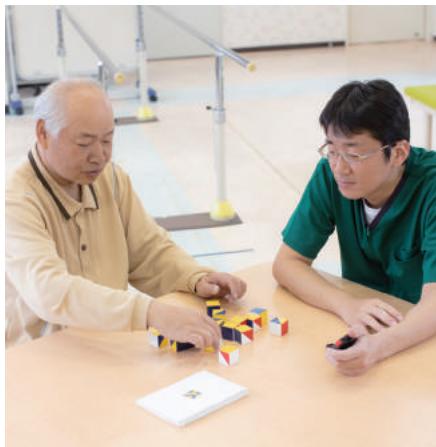
「いつもの暮らし」が「自分らしい暮らし」となるように、広い知識・熱い想い・温かい心を持ってリハビリテーションを提供します。

○ オーダーメイド・リハビリテーション

患者さまの目指す「いつもの暮らし」に合わせたリハビリテーションプログラムを提案し、「されるリハビリテーション」ではなく、自らの活動を大切にする「するリハビリテーション」を提供します。

○ チーム・リハビリテーション

生活動作に関する専門家、言葉や食事の専門家、歩行の専門家がチームを組んで患者さまの治療に取り組みます。



○ 日常生活・社会復帰へ向けたリハビリテーション

生活上の「できない」を「できる」に、社会復帰への「不安」を「安心」に変えるために粘り強く、繰り返し練習を行います。





○ 入院中のリハビリテーション

365日リハビリテーションを行います。早期から充分なリハビリテーションを行うことの効果はすでに科学的に確認されており、当院でも入院初日から1日も欠かすことなく充分な時間を確保しリハビリテーションを行います。

限られた入院期間で最大の効果を引き出すため、治療ガイドラインや質の高い研究結果を参考にし、心身機能回復に直結するリハビリテーションを提供いたします。身体の機能が低下した部分に対しては充分なトレーニングを、生活する上で不足している能力に対しては、身体を上手く動かす練習を繰り返し行います。また生活の活動制限に対しては、活動を広げるためにはどのような方法があるのかをご提案してまいります。

さらには医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、看護助手などの各専門職がチーム一丸となって入院生活を支えます。



回復期リハビリテーション病棟では入院生活の全てがリハビリテーションです。療法士等による専門的なリハビリテーションだけでなく、生活に沿った病棟リハビリテーションを実施し、24時間365日サポートいたします。

また、退院後の生活に不安を残さないために、かかりつけ医や福祉関係者への情報提供を行うとともに、各種手続きの支援など退院に向けた準備も行います。

○ 退院後のリハビリテーション

当院では退院後の生活を支えるために、通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションをご用意しております。

通所リハビリテーションは病院に併設されており、退院後の不安や目標を共有しやすい環境にあります。また、ご自宅に伺って実際の生活状況を確認し、「買い物に行きたい」「一人でトイレに行きたい」「料理をもう一度作ってみたい」といった目標を一つでも叶えるためのリハビリテーションを提供いたします。



目配り、気配り、耳配りで 患者さまの心身を癒します。



▢ 基本姿勢

看護部では患者さまに安心と満足を感じていただけるよう、どのような状況においても患者さまの心の声をしっかりと受け止められる看護師を育成しています。そのためには細やかな目配り、気配り、耳配りが欠かせません。そして笑顔を絶やさず患者さまに寄り添うことを日々心がけています。

▢ 確かな看護技術を目指して

知識と科学的な根拠をもつ看護技術を提供できるよう、常に研鑽に励んでいます。経験豊かな看護師と新人看護師が協力し合い、チームワークで業務にあたっています。

▢ 患者さまの安心のために

他職種との連携を密にして情報共有しながら、入院から退院まで十分な支援を行い、ご自宅に戻られてからも患者さまやご家族に安心していただける治療、看護、介護を目指しています。



患者さまの目線に立った 「思いやり」の医療体制



受け入れ体制

当院は地域包括ケア病棟と回復期リハビリテーション病棟を備えております。

近隣医療機関からは日々お問い合わせをいただきますが、患者さまの状態によっては、急を要するケースもあります。そのようなときでも迅速に適正なベッド選択を行い受け入れができるよう、医師や看護部と常に密にコミュニケーションをとりながら対応いたします。

患者さまへのヒヤリング

ご病状が安定したからといって、患者さまやご家族の不安が解消したわけではありません。退院後も病気や介護とどのように付き合っていいか、自宅で過ごすにはどうすればよいのか、どんな病院や施設があるのか…患者さまやご家族の悩みや不安は、お一人おひとり異なります。私たちは、患者さまご本人やご家族のお話を丁寧に伺い、グループはもちろんのこと、外部団体とも連携して、患者さまが退院後も安全・安心な暮らしを営めるようにサポートしております。

帰宅・退院支援

患者さまのなかには、必要であるにもかかわらず適切な公的支援を受けていない方がいらっしゃいます。そのような方には、地域包括支援センターやケアマネージャーとの橋渡しをしております。退院後の生活環境を支える専門職との出会いは非常に重要です。また退院後の生活の場にご自宅以外を検討される場合は、そのお手伝いもさせていただいております。

レスパイト入院

レスパイト(respite)とは、「一時休止」「休息」「息抜き」という意味です。在宅で介護されている方の疲労を軽減するための短期入院をレスパイト入院といいます。

「医療的な管理が必要でも、自宅で看たい」とのご家族の思いを実現させるために、当院ではレスパイト入院を受け入れております。

介護生活は長い道のりです。介護されている方も、ちょっと一息つく機会をつくり体を労わられてはいかがでしょうか。ご相談お待ちしております。

入院のご案内

当院では、職域を超えて全てのスタッフが患者さまのお悩みを真摯に受け止め、笑顔で安心して入院生活を送っていただける病棟づくりを目指しています。

- 患者さまが気持ちよく治療、療養、リハビリテーションに専念できるように病室や諸設備を常に清潔、快適に保ちます。
- 定期的に医療安全の問題点を検討し、安全な環境づくり(転倒防止、事故予防、連携ミス防止など)を目指します。
- 管理栄養士、医師、看護師、言語聴覚士による総合的な摂取機能評価と栄養状態評価にもとづき、病状にあった食事を提供します。
- 周辺医療機関とも連携して院内感染の予防に努めます。
- 患者さまの個人情報やプライバシーの保護を徹底します。



地域包括ケア病棟

病気やけがによる急性期治療後、すぐにご自宅や施設で療養するには不安がある方々、またはすでにご自宅や施設で療養中の方々に効率的な医療、看護、リハビリテーションを提供し、在宅復帰に向けて支援をする病棟です。「在宅復帰支援計画」に基づき、主治医、看護師、リハビリスタッフ、社会福祉士などが協力して支援を行い、退院を目指します。

回復期リハビリテーション病棟

脳血管障害、骨折、手術などの急性期治療後の1~2ヶ月を回復期といい、この時期に集中的なリハビリテーションを行うことにより低下した機能を回復させるための病棟です。単なる身体の機能訓練だけでなく、患者さまとご家族のその後の生活を考慮し、ご自宅や施設へのスムーズな復帰を目指します。

地域医療機関等との入院・転院等の連絡調整、在宅医療に関するご相談、介護保険や福祉制度に関するご相談等について、地域連携部のスタッフが対応いたします。

地域連携部直通 / TEL.0774-53-3505 (9:00~17:00※日祝除く)

院内ギャラリー



待合ホール



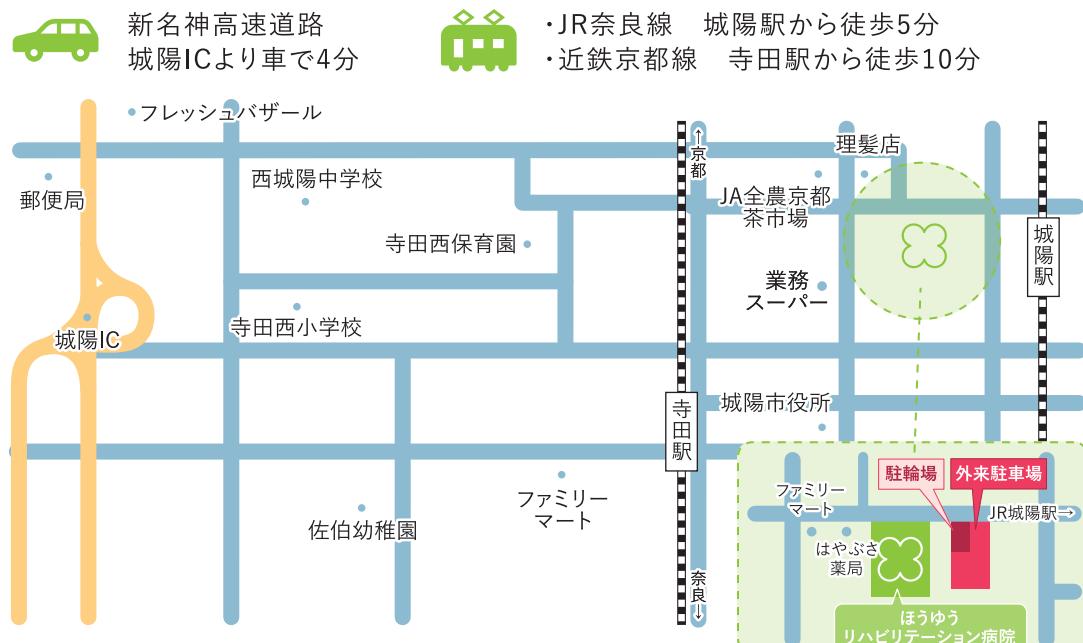
リハビリスペース



病室

病院概要

名称	医療法人晴風園 ほうゆうリハビリテーション病院
住所	〒610-0121 京都府城陽市寺田垣内後43番地の4
電話	0774-53-8100
開設年月日	昭和58年4月25日
理事長	植松 正保
院長	羽渕 義純
診療科目	内科 / 外科 / リハビリテーション科 / 放射線科
病床数	病床数 88床 地域包括ケア病棟:47床 回復期リハビリテーション病棟:41床
主な機器	マルチスライスCT(16列) / フルデジタルX線TV / X線骨密度測定装置 超音波断層装置 / 心電図 / 血圧脈波 / 電子内視鏡(食道・胃)
健診事業	法定健康診断(企業健診)
関連施設	訪問看護ステーション ゆりかご / 通所リハビリテーション



ホームページ

<http://www.hoyu-hp.jp>



QRコードからも
HPにアクセスいただけます▶

